

生駒市ごみ減量市民会議(令和2年2月度) 会議録(要旨)

1. 開催日時 令和2年2月17日(月) 午後4時～午後5時45分
2. 場 所 生駒市役所4階401・402会議室
3. 会議次第

報告事項

- (1) 環境フリーマーケット等啓発活動実施結果について
- (2) 広報いこまの掲載について
- (3) 令和元年度ごみ減量市民会議活動実績について

協議事項

- (1) ごみ組成調査の実施について

日時 令和2年3月12日(木) 9:30～ 13:00～

令和2年3月13日(金) 9:30～ 13:00～

場所 ㈱生駒市衛生社駐車場

- (2) 環境フリーマーケット及び食品トロックの実施

日時 令和2年3月20日(祝・金) 10:00～13:00(雨天中止)

場所 ベルテラスいこまベルステージ

- (3) 令和2年度ごみ減量市民会議活動計画案について
- (4) 広報いこまの掲載について

4. 出席者(敬称略)

【参加者】坂本 剛伸、藤堂 宏子、山田 龍三、藤尾 庸子、山口 昭夫、清水 綾、
奥田 高弘、小山 忠昭、田平 厚子、藤中 章夫、寺井 孝幸

【事務局】奥田(市民部長)、奥田(環境保全課長)、
木戸(環境保全課課長補佐)、鳴川(環境保全課事業係長)、
久保(環境保全課事業係)

5. 欠席者 なし

6. 傍聴者 3名

7. 会議内容(要旨)

案件

報告事項(1)

●環境フリーマーケット等啓発活動実施結果について

事務局 <資料1 環境フェスティバル啓発活動実施結果、資料1-2 行事におけるアンケート集計結果、資料1-3 食品トロック実施報告書及び資料1-4 食品トロック新聞記事について説明>

座 長 環境フリーマーケット出店者へのアンケートでは「来場者が少ない」という意

見が多いということであるが、大きなイベントと同時開催でない時は妥当な来場者数であると思われる。

報告事項(2)

●広報いこまちの掲載について

事務局 <資料2-1 広報いこまち 3月1日号への掲載に係る経緯及び資料2-2 食品ロスに関する記事について説明>

座 長 4月1日号の食品ロス削減の特集では、環境モデル都市推進課と共同で掲載することのだが、問い合わせ先を一本化することが必要と思われる。

事務局 担当を明確にしていきたい。

広報分科会 広報いこまちに毎号ごみのQAコーナーが掲載されることについて、もともと市民会議の意向であったことが実現することになった。

報告事項(3)

●令和元年度ごみ減量市民会議活動実績について

事務局 <資料3 令和元年度ごみ減量市民会議活動実績について説明>

座 長 何か事務局の説明にご意見ご質問等ございませんか。

《参加者からの質問等なし》

協議事項(1)

●ごみ組成調査の実施について

事務局 <資料4 ごみ組成調査について説明>

座 長 ごみ組成調査の作業内容はどのようなものか。

事務局 可燃物のごみ袋を回収展開し、種類ごとに分類する。
ごみ袋の有料化に先立ち組成調査を実施し、その後の分別の進み方について傾向をつかみつつ分別可能なごみがどれぐらいあるのか確認のため行っている。
また、次の一般廃棄物処理基本計画策定の基本にもなってくる。

参加者 以前、参加したが分別作業は大変であるが、体験することでごみの現状や家庭でのごみの出し方などよくわかり良かったと思っている。

参加者 分別の対象となるごみの回収地域の選定基準は何か。

事務局 ごみ半減プラン策定時に組成調査の対象とした地域である。これまでの傾向をつかむために固定された地域で実施している。

座長代行 比較的古い住宅地、新興住宅地、マンションという特徴的な地域を対象とすることで、生駒市全体の傾向と判断できると考えていただいている。

参加者 キューロや生ごみ処理器を購入された方の地域を集計し、その地域の生ごみが購入前と購入後でどのくらい減っているか検証しても良いのではないかと。

事務局 検討する。

《参加者の決定》

協議事項(2)

●環境フリーマーケット及び食品トロックの実施について

事務局 <環境フリーマーケット及び食品トロックの実施について説明>

参加者 食品トロックの実施に伴う食品の提供を企業から受けることはできないか。

事務局 事業者に向けての食品ロス削減は環境モデル都市推進課と連携を取りながら進めていくこととなる。

《参加者の決定》

協議事項(3)

●令和2年度ごみ減量市民会議活動計画（案）について

事務局 <資料 5-1 令和2年度ごみ減量市民会議活動計画（案）、資料 5-2 自治会懇談会実施自治会及び資料 5-3 ごみ減量市民会議の活動への意見まとめについて説明>

座長代行 自治会懇談会を実施していない自治会の中で、ごみ減量市民会議の委員とつながりのある自治会があれば、懇談会の実施について働きかけをお願いしたい。

座長 ごみ減量市民会議はごみ減量に向けた啓発をすすめるものであり、自治会懇談会は、住民からも好評で、有効な啓発のツールであると考えられる。懇談会を行っていない自治会にはぜひ実施への働きかけをしてもらいたい。

参加者 実際に自治会懇談会に出席したが、ごみについて住民がお互いに共有の意識を持つことができ、有意義であったと感じている。

協議事項(4)

●広報いこまちの掲載について

事務局 <資料6 広報いこまちの掲載内容（案）について説明>

広報分科会 2月20日に広報分科会を開催し、自治会懇談会での市民の疑問をQAとした記事を中心に考えます。また資料6の掲載案のほか、掲載が望ましいと思う内容があれば、事務局へ提案してください。4月の本会議において1年間の掲載内容計画案を報告いたします。

座長 広報分科会で提案していただいた掲載案について、掲載時期などについては、広報分科会に一任してよろしいか。

《参加者賛同》

その他

●「100の複合型コミュニティづくり」について

部長 環境モデル都市推進課で実施している「100の複合型コミュニティづくり」について説明

- ・平成31年3月6日内閣府募集のSDGs未来都市に応募
資源回収コミュニティ促進拠点の設置
 - ・令和元年8月16日事業採択
 - ・令和元年9月補正予算(1000万円)
 - ・令和元年11月業者の選定(アマタ株)
 - ・令和元年12月20日から令和2年2月末まで萩の台及び光陽台で実証実験
- 当初の資源回収コミュニティ促進拠点から、介護予防の体操、農産物の販売、サロンなど「最大の移動・生活支援を市民・事業者による運営実現」という複合型コミュニティに形態が変わってきている。
- ごみ減量市民会議ではこのコミュニティの中で自治会懇談会を活用していただくことで参画し、ごみ減量を進めていけたらと考えている。

参加者 ごみに関することでありながら、ごみ減量市民会議に事前に情報提供がないままに実施されていることに疑問を感じている。

座長 「100の複合型コミュニティづくり」によりごみの減量につながるとされているが、昨年8月に市長へ提出した「ごみ減量市民会議活動報告書」においてごみの減量のための施策として戸別収集を提案している。「100の複合型コミュニティづくり」に要する費用は、戸別収集に係る費用に充ててもらいたいと考えている。

部 長 ごみ減量市民会議に情報提供がなかったのは、短期間で事業が進んだことにより、市民会議開催時に説明するタイミングが合わなかったと聞いている。また、費用のことはわからないが、ごみ減量市民会議としては、地域のコミュニティづくりの一環として、自治会懇談会を実施することで協力していただきたいと考えている。

座 長 最後に、資料 5-3 のごみ減量市民会議の活動への意見まとめについて、内容を各自確認していただき、次の4月の会議で意見をいただきたい。

以上です。

本日の会議はこれで終了します。

ありがとうございました。